

第 55 回東葛しぜん観察会

新松戸・小金の巨木と歴史を訪ねて

薮 正雄（松戸市）

日 時：2009 年 10 月 4 日（日）10：00～14：20 天気：晴

場 所：新松戸～北小金

参加者：一般 65 名 指導員 17 名 合計 82 名

担当指導員：田中玉枝 薮 正雄 渡辺真江

1) ルート

新松戸駅（10：00）～赤城神社～幸谷観音～関さんの森（10：50）～旧家の見学～
花島家の巨木＝スタジイ～関さんの森～一月寺＝虚無僧寺～小金宿旅籠「玉屋」～
東斬寺（12：20 昼食＝13：00 午後の部）～本土寺参道～東平賀貝塚公園（14：20）

2) 観察会

参拝を兼ね高齢の方々が多数参加するので、安全安心の為に地元消防署を訪ねルートを説明し AED を借用するよう、下見の後で神のお告げを聴きました。お告げが効きすぎ 100 名を突破する勢いの参加申し込みに戸惑い 67 名で打ち切らせていただきました。当日は晴れ女の念力か参加者の熱意か、雨の谷間の晴れ日の貴重な一日となりました。指導員は松戸の巨木と歴史に「親しみ」「知り」「守る」をキーワードに自然と人間の仲介役に徹する観察会を心がけました。そして AED を使用すること無く終了できました。

3) 参加者の声

この地域にこんなに多くの巨木があったなんて驚いた。関さんの森を実際に体感し人間と自然の歴史を再認識できて良かった。身近な場所なので説明を思い出しながら再訪したい。切ってしまうとお終いの樹木をこれからも大切に守りたい。

4) 指導員の取り組み結果

充分な下見と準備資料の充実が会として統一性を保てた。班編成行動が自主性を発揮し役割認識を持って行動することができた。班を持たない指導員も役割を担い、全体行動ができた。知識の羅列より自然と人間の関わりを「なぜ?」という発想で自分の体で感じていただくように進めた。

5) 今後の観察会運営と指導員の課題

複数の班行動をスムーズに運営するためリードタイム手法について学ぶ。観察会参加者は自分の時間を預託しており、特に最終予定時間内に終了解散する引率力がスキルとして欠かせない。



スタジイの巨木